

**製品名: DDR2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09869**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:200-1:500, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

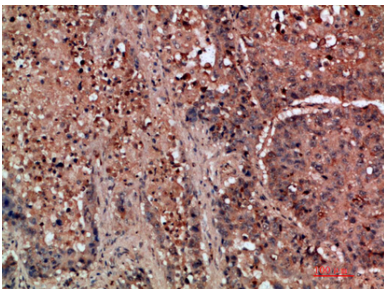
遺伝子名	DDR2 NTRKR3 TKT TYRO10
別名	Discoidin domain-containing receptor 2 (Discoidin domain receptor 2) (EC 2.7.10.1) (CD167 antigen-like family member B) (Discoidin domain-containing receptor tyrosine kinase 2) (Neurotrophic tyrosine kinase, receptor-related 3) (Receptor protein-tyrosine kinase TKT) (Tyrosine-protein kinase TYRO10) (CD antigen CD167b)
遺伝子 ID	4921.0
SwissProt ID	Q16832
免疫原	AA 範囲: 31-80 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

## 背景

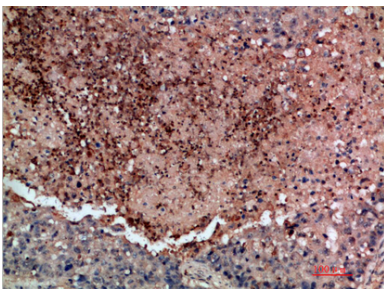
受容体チロシンキナーゼ (RTK) は、細胞とその微小環境とのコミュニケーションにおいて重要な役割を果たします。これらの分子は、細胞の増殖、分化、および代謝の調節に関与しています。いくつかの症例において、RTKが膜を介してシグナルを伝達する生化学的メカニズムは、リガンド誘導性受容体オリゴマー化とそれに続く細胞内リン酸化であることが示されています。この自己リン酸化は、細胞質標的のリン酸化と、シグナル伝達の多面的効果に関与する他の分子との結合につながります。RTKは、細胞外領域、膜貫通領域、および細胞質領域の3つの部分からなる構造を有しています。この遺伝子は、RTKの新規サブクラスのメンバーをコードし、第VIII因子様ドメインを含む独特の細胞外領域を有しています。5' UTRにおける選択的スプライシングは、多重転写触媒活性をもたらす:  $ATP + a \text{ [protein]-L-チロシン} = ADP + a \text{ [protein]-L-チロシンリン酸}$ 。機能: 線維性コラーゲンに対するこのチロシンキナーゼ受容体は、線維芽細胞の移動と増殖を媒介する。皮膚創傷治癒に寄与する。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。チロシンタンパク質キナーゼファミリー。インスリン受容体サブファミリー。類似性: 1つのF5/8タイプCドメインを含む。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。組織特異性: 主要な10 kDaの転写産物は、心臓と肺で高レベルで発現し、脳、胎盤、肝臓、骨格筋、膵臓、腎臓では低レベルで発現する。、

## 研究分野

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された